

第4回宇宙開発委員会定例会議
議事次第

1 期日 昭和46年4月7日(水)
午後1時55分～2時

2 場所 宇宙開発委員会会議室

3 議題 (1) 前回議事要旨の確認
(2) 技術部会の審議事項について

4 資料

4-1 第3回宇宙開発委員会
定例会議議事要旨

4-2 技術部会の審議事項について(案)

第3回宇宙開発委員会定例会議議事要旨

1. 日 時 昭和46年3月3日(水)
午後2時～3時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 「たんせい」打上げについて
(2) 宇宙開発に関する基本計画について

4. 配布資料

- 3-1 第2回定例会議議事要旨
- 3-2 宇宙開発に関する基本計画(案)
- 3-3 M S-T IおよびM-4 S-2号機発表文

5. 出席者

委 員

〃

〃

〃

山 県 昌 夫
網 島 毅 三
大 野 勝 三
吉 識 雅 夫

説明者

東京大学宇宙航空研究所教授
東京大学生産技術研究所教授

玉 木 章 夫
斎 藤 成 文

関係各省庁職員等

科学技術事務次官
科学技術庁研究調整局長
科学技術庁宇宙開発参事官
外務省国際連合局外務参事官

藤 波 恒 雄
石 川 晃 夫
市 瀬 輝 雄
石 川 良 孝
(代理:戸田)

通商産業省重工業局次長

通商産業省重工業技術院総務
部長

運輸省大臣官房参事官

文部省大学学術局審議官

気象庁総務部長

海上保安庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

建設大臣官房技術参事官

山 形 栄 治
(代理:撫佐)

黒 部 稔
(代理:柘植)

高 橋 寿 夫
(代理:高谷)

渋谷 敬 三
(代理:鈴木)

上 平 輝 雄
(代理:落合)

堀 毅
(代理:山崎)

太 原 幹 夫
(代理:影山 他)

増 岡 康 治
(代理:中村)

オブザーバ

東京大学宇宙航空研究所業務課

大 野 勝 男
秋 元 春 雄

事務局

科学技術庁宇宙企画課長

園 山 重 道 他

6. 議事内容

- (1) 第2回定例会議議事要旨が確認された。
- (2) 玉木、斎藤両教授から、2月16日打上げられた「たんせい」衛星およびM-4 S-2号機について説明があつたのち次の質疑があつた。
(イ) 山県: NASAの追跡協力は今後どうなるのか。
玉木: 今のところM-4 S-3号機までやつてもらえることになっている。

また、テレメーターも、NASAの好意で打上げ後48時間やつてもらった。しかし、3ヶ月間も追跡を依頼するのはとても気がひけることでありいつまでもNASAの好意に甘えるのはどうかと思う。

山県：今後は事業団でやらねばならないと思うのでできる

だけ早く、この追跡の問題について考えねばならない。

(3) 事務局から、基本計画について説明があつたのち、これを審議し、別添のとおり議決した。なお、審議の際、次の質疑があつた。

(イ) 網島：この案は改正なのか、それとも新たに定めるものなのか

事務局：新たに定めると考えている。

(ロ) 網島：宇宙開発計画は毎年見直すことになつていますが、それによつて開発計画が改定された場合、どうするのか。

事務局：開発計画が改定された場合は、当基本計画も改めることになる。しかし、昭和45年度決定が改定されない限り、このままで改定の必要はないものと考えられる。

網島：基本計画にこの(昭和45年度決定)を入れることの必要性はどうか。

事務局：昭和45年度決定と書き入れる方がよいものと考えられる。

(ハ) 吉識：「なお、」以下の2行の位置が少しおかしいと思う。

例えば、「・・・方針に沿つてその開発を・・・」

以下3行を「・・・方針に沿つて その開発を実際に進めるには、宇宙開発委員会・・・」とするか、または「記」の上、最初にもつてくるのがよいと思う。

網島：この2行が基本計画の中心であると思う。文章上、おかしいかもしれないが、内容はよくわかるのでこれでもよいのではないか。

大野：方針には7つの事項があるが、具体的なやり方は宇宙開発委員会が定めるのであるという意味にとれるのでこれでもよいと思う。

山県：歴史的にすでにあつたものに2行付け加えたので、止むをえないと思う。

技術部会の審議事項について（案）

昭和46年4月7日
宇宙開発委員会

(1) 審議事項

技術部会は、東京大学宇宙航空研究所において行なわれた昭和45年度第2次観測ロケット実験の結果（科学観測の結果を除く。）および宇宙開発事業団において行なわれた第3回ロケット打上げ実験の結果を評価するために必要な技術的事項について調査審議するとともに、宇宙開発に関する信頼性の管理に関する検討の進め方について審議するものとする。

(2) 審議期間

上記事項の審議は、昭和46年4月に開始し、同年5月までに終わることを目途とする。